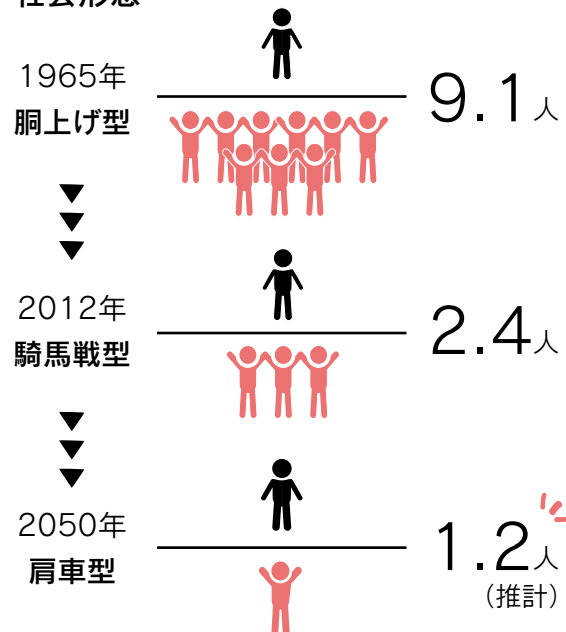


図2

全国の人口推計
働き手の割合と
社会形態

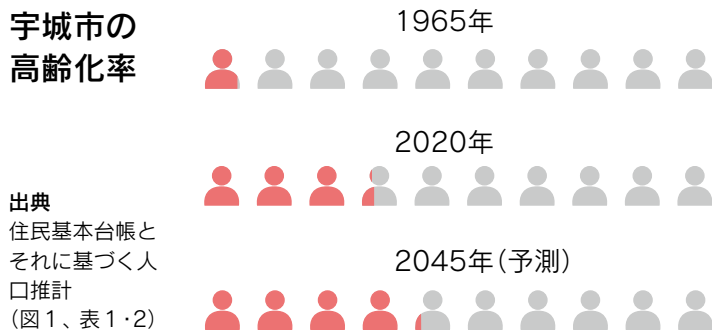
65歳以上1人
に対する
20～64歳の人数



出典 社会保障・人口問題研究所
「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」

図1

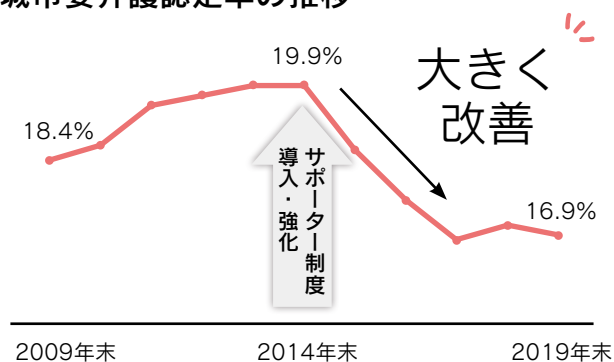
宇城市の
高齢化率



出典
住民基本台帳と
それに基づく人
口推計
(図1、表1・2)

表2

宇城市要介護認定率の推移



高齢化の
現実を知る

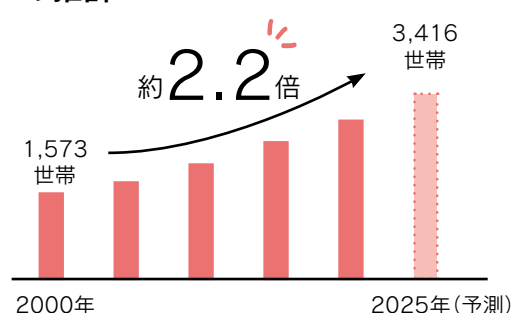
9.3%

33.9%

41.6%

表1

宇城市1人暮らし高齢者世帯数
の推計



つながる
想いは
笑顔をつなぐ

支え、支えられる
高齢者とサポーター

皆さんは老後、どこでどのように暮らしたいですか――。

宇城市は近年、高齢化の一途をたどり、このまま進むと2045(令和27)年には市民の41.6%が65歳以上の高齢者に(図1)。また、全国的にも「肩車型社会」というおよそ働き手1人で1人の高齢者を支えなければならぬ未来がやってくるというわれ(図2)、社会保障の危機も叫ばれています。

高齢化が進む社会で生活していくため、宇城市には、高齢者の皆さんの生き方を支援する3大サポーターがいます。

身の回りの簡単な生活支援を行う
「安心生活サポーター」

介護予防活動を支援する
「うきスマイルサポーター」

認知症予防活動を支援する
「脳いきいきサポーター」

宇城市では各サポーターの活躍で、高齢者が要介護状態になる比率が抑えられています(表2)。

それでは、高齢者が地域の中で生き生きと暮らし続けられるように支えるサポーターの活躍をのぞいてみましょう。

